

日本共産党 大府市後援会ニュース

発行 日本共産党大府市後援会

TEL/FAX 48-0194

2008年 秋号 部内資料



佐々木憲昭議員を迎えて 共産党演説会に110人!

10月25日(土)大府市勤労文化会館で開かれた日本共産党演説会では、110名の参加者が衆議院議員・佐々木憲昭さんのお話になぜ、共感の拍手を送りました。終了後、参加した皆さんから87,000円もの総選挙カンパをいただきました。本当にありがとうございました。



佐々木議員は演説会の中で、「麻生さんは解散へのシナリオを 福田総理の突然辞任 総裁候補者5人での世論誘導 麻生総理誕生、そして早期解散と描いていました。しかしそれが思うようにいかず、現在迷走中です。」と語り、続いて全世界的な金融危機の原因、解決策などをわかりやすく提起しました。

これまでに40万円の負担増
定率減税の廃止や社会保障の改悪など、小泉内閣以来、総額12兆7千億円、4人家族で年間40万円もの国民負担が増えています。

TV/衆議院財政金融委員会での
佐々木憲昭議員の質問



給付金よりずっと多い負担
給付金が総額2兆円、4人家族で6万円と見積もられていますが、国民から毎年40万円取り上げておいて、一回だけ6万円戻すが、3年後には消費税増税で合わせて80万円取り上げることになります。

そしてまた消費税増税で40万円の負担
麻生首相の持論である10%への消費税増税で、単純計算で一人当たり10万円、4人家族で年40万円の大増税となります。中川財務・金融担当相は「現在の景気状況のままかけ算すればそういうことになる」と。

政府が経済対策の「目玉」としている一回限りの定額給付金は景気対策にならない。家計の負担を減らし、家計消費を拡大する方向に全体の政策の軸足を転換することこそ必要です。



60人参加で大成功!
後援会バーベキュー大会

新しい後援会長さんの「カンパニー」の音頭で始まったバーベキュー大会。食欲旺盛な子どもたちが食べるわ食べるわ。1時間で足りなくなったお肉や焼きそばを買出しに。ビール片手に楽しい話の輪が広がりました。天気もよく、老若男女入り混じり、楽しい楽しい一日でした。

シースプライン

大府・共和間の新駅建設のために20年度までに投入された税金は約27億7千万円です。これを現在の人口約84000人で割ると、一人当たり約33000円弱の負担となります。さらに21年度は建設予定地東側の駅前広場等の整備費に2億3530万円が投入されます。

しかし、現在までJR東海には「大府市に新駅の計画はない」ということは市議会での市長答弁でも明らかです。

ご要望・ご意見は

山口広文市会議員 TEL 47-3774

久永かずえ市会議員 TEL 44-3245

森山まもる前市会議員 TEL 44-0205

知多地区ホームページ <http://jcp-chita.com>